頁	段・行	誤	正
29	上段16行	驢	嚧
39	上段22行目	驢	嚧
	下段4行目	驢	嚧
63	上段2行目	梅堯臣詩編年校注	梅堯臣集編年校注
64	上段20行目～下段1行目	明道二年（一〇三三）：徳興県（江西省徳興市）の令に任ぜられるが、実際には行かず、河陽と洛陽の間を行き来していたという[4]。……	明道二年（一〇三三）：河陽と洛陽の間を行き来する。……
		景祐元年（一〇三四）：科挙を受験し下第する。八月、汴京を発し建徳県（浙江省建徳市）へ向かう。	景祐元年（一〇三四）：科挙を受験し下第する。徳興県（江西省徳興市）の令に任ぜられるが、実際には行かなかったという[4]。八月、汴京を発し建徳県（浙江省建徳市）へ向かう。
68	上段16行目	（■＝右虫左咸）	（■＝左虫右咸）
81	上段19行目	瀆浄	潔浄
84	下段21行目	号	叩
	下段25行目	号	叩
85	上段2行目	号	叩
	上段23行目	屢号	噯叩
86	下段9行目	号号	哨叩
87	上段20行目	号	叩
	上段22行目	号	叩
	上段23行目	号	叩
	上段24行目	号	叩
	上段25行目	号	叩
90	上段22行目	号	叩
	下段2行目	淵	粟
114	下段3行目	後の例だが李白「	後の例だが李白「観元丹丘坐巫山屏風」詩に「昔游三峡見巫山、見画巫山宛相似。疑是天辺十二峰、飛入君家綵屏裏（昔　三峡に游び　巫山を見る、巫山を画きたるを見れば宛も相ひ似たり。疑ふらくは是れ天辺の十二峰、飛びて君が家の綵屏の裏に入るかと）」とある。